



ワタケンだより

春号
2021年
No.60

特集 作業服・ヘルメットをリニューアル!
ワタコラ ~ワタケン社員のコラム~
ハウジング部 鈴木由季さん

トピックス 三嶋大社にて安全祈願を実施
沼津税務署より優良申告法人表敬状
新成人の抱負 ~松嶋悠介さん~
新成人の抱負 ~中村夏海さん~
お知らせ 渡辺雄二会長、秋の褒章受章



富士市津田町店舗(ユニクロ・GU)/富士市

集まり散じて人は変われど
代表取締役 渡辺正高
新型コロナウイルスの感染状況は一向に収まる気配をみせませんが、それでも季節は変わっていきます。私が社長に就任してから初めての春を迎えました。この号が皆様方の手元に届けられる頃にはソメイヨシノは満開でしょうか。それとも満開のピークを過ぎて新緑の葉が芽吹き始めた頃でしょうか。グローバル化の波の中、日本も海外のように入学や入社時期を秋へ移行させようという議論が取りざたされています。しかし、それでも秋への移行が思うように進まないのは、もちろん社会構造の問題もあるでしょうが、やはり卒業や入学といった人生の節目となる思い出とあのソメイヨシノの淡い花吹雪の景色の織り成す景色が、私たちの心の深層に一つになって深く定着していることも大きな要因なのかもしれません。年の初めの浮足立つような高揚感、秋の紅葉を感じるえもいわれぬ哀愁、季節の移り変わりに様々な感情がこみあげるもの



です。しかし、この春だけは高揚感と哀愁の二つが同時に入り混じる一年でも特別な季節です。多くの人にとって春とは他の季節とは異なる特別な存在です。何気ない日々の流れの中で気が付くと人の入れ替わりを感じることがふとあります。当たり前のように毎日会っていた友人との縁が遠いものになってしまふ。またはふとした縁がいつの間にか長く太い繋がりになっている。それは会社という組織も同じです。私はこの春で当社に入社して一〇年が経ちますが入社当時と今を振り返ると多くの人が去り、そして新たな出会いがありました。人の入れ替わりがあっても変わらないのは建設産業を通して社会に貢献したいという社員士の気持ちです。集まり散じて人は変われど... 出会いと別れの入り混じるこの季節、改めて自分の身の回りを振り返り、変わったもの、そして変わらないものを改めて見つめ直すのには適切な時なのかもしれません。

【発行】渡辺建設株式会社

〒410-1235 裾野市富沢三九四一

電話 〇五五九九二〇〇三〇代

【編集】ワタケンだより編集部

ワタケンだより

三嶋大社にて
安全祈願を実施



一月三十日、三島市の三嶋大社にて弊社及び渡辺建設株式会社安全推進協力会主催による安全祈願が執り行われました。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、参加者を大幅に減らしての開催となりました。弊社の渡辺正高社長、協力会の近藤宜孝会長をはじめとした幹部六人で今年一年間の無事故無災害と商売繁盛、感染症の早期終息を祈願しました。

沼津税務署より
優良申告法人表敬状



十一月二十七日、渡辺建設本社にて、沼津税務署より優良申告法人(表敬状対象最終事業年度至令和元年六月三十日)の表敬を受けました。これは当社の近年の法人税・消費税の申告の実績に対して、申告納税制度の本旨に即した内容と認められた事業法人に対して表彰されるものです。当日は沼津税務署より斉藤修署長が来社され、当社の渡辺社長が表敬状の受賞を受けました。当社はこれからも社会の模範となる申告納税を心がけて参ります。

新成人の抱負

土木部
松嶋悠介



令和三年一月十日に成人式を行い、無事成人を迎えることができました。コロナの影響もあってか全体の七割ほどしかいませんでしたが、中学校卒業以来会ってない人ばかりで思い出話や今どんな事をやっているのかなどを話し、楽しい時間を過ごすことができました。二十歳になり大人の仲間入りをしたわけですが、これからは自分で考え行動する場面が増えるかと思えます。仕事でもプライベートでもしっかりと善悪の判断をし、自分の行動に責任を持ってこれからも頑張っていきたいと思えます。

新成人の抱負

総務部
中村夏海



コロナの影響で私の住んでいる地域では、成人式を行うことができませんでした。しかし、一生に一度の思い出なので友人と相談し、外で写真を撮りに行くことにしました。久しぶりに会う友人たちは外見が変貌していて驚きましたが、性格は何一つ変わっていません。二十歳になりそれぞれが目標をもって努力していることに感銘を受け、私も目指すものを明確にし、また会う日には胸を張って会えるように頑張ろうと思えました。これからは色々なことがあると思いますが、何事もあきらめずにチャレンジしようと思えます。

お知らせ

秋の褒章受章



弊社渡辺雄二代表取締役会長は、令和二年十一月三日、令和二年秋の褒章にて「黄綬褒章」を受章されました。渡辺会長は、昭和五十四年渡辺建設への入社を機に建設業界に入り四十一年余、当社社長職を長きに渡り務めたほか、沼津建設業協会や静岡県建設業協会等の役員を務め、永年にわたり建設業界の発展に尽力しました。社業においては、新分野への展開や現場管理手法の省力化等に積極的に取り組まれました。

【氏名】 鈴木 由季
(すずき ゆき)
【生年月日】 11月17日
【出身地】 裾野市
【家族】 夫、義母
【所属】 ハウジング部
【入社】 平成23年4月
【役職】 主任
【趣味】 旅行、運動

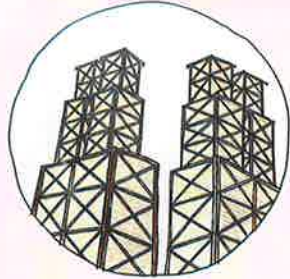


結婚を機に裾野市から伊豆の国市菰山に移り住みました。皆さんにも菰山の良い所を少しでも知ってもらおうと、菰山の観光名所を紹介したいと思います。少し個性を出すために私の描いたイラストにて紹介したいと思います。実物と違う部分があるかもしれませんが、ご了承下さい。

まず菰山ってどんな所？

伊豆半島北部の旧町。2005年に伊豆長岡町、大仁町と合併し伊豆の国市となりました。狩野川の右岸に位置し、伊豆箱根鉄道が通り原木・菰山・伊豆長岡駅の3駅があり、農業は米作・イチゴ栽培をはじめトマトなどの施設園芸が盛ん、観光イチゴ狩りが定着している地域です。

★それでは、菰山の観光名所を紹介したいと思います!!!皆さんも知っている菰山反射炉です★



平成27年7月「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録

江戸時代末期に菰山代官であった江川太郎左衛門英龍の建言により、品川台場(現在の東京都品川区台場)設置する大砲の製造するために建てられた。

反射炉とは、鉄などの金属類を溶かし、大砲を作るための溶解炉。当初は、賀茂郡本郷村(現在の下田市)で着工したが、ペリー艦隊の水兵が敷地内に侵入する事件が起き、菰山の地に建設地が変更になった。また、日本の近代化の第一歩を示す建物であり実際に大砲を製造した反射炉としては、日本で唯一の現存するもの。

菰山反射炉を作った江川太郎左衛門英龍はどんな人？

平安時代から38代にわたって代官を勤めてきた江川家の36代当主で、「たんなん」とも呼ばれている。お台場や号令を作った人です。菰山での反射炉建設の完成を見ることなく安政2年に世を去り、息子の英敏が跡を継ぎ完成させた。また、長崎から技術を導入し、兵糧・備蓄のために固いパンを焼く事を考え、初めて日本のレシピでパンを焼いた人とも言われています。日本のパン業界から「パン祖」と呼ばれている。



★世界遺産を間近で見られるので、是非おすすめです。また、売店では当時のパンを再現した「パン祖のパン」も販売されているので、一度食べてみてはいかがでしょうか★



江川太郎左衛門英龍も住んだ江川邸(国指定重要文化財)

1600年頃建てられてもので、江戸幕府の世襲代官を務めた江川家の邸宅。日本で最初にパンが焼かれた場所とも言われています。井戸の水は、主に生活用水として使われていたが戦国時代から江戸時代にかけて、お酒の醸造にも使われるようになり、戦国武将の北条早雲、徳川家康からお墨付きをもらうほど美酒だったようです。

★菰山反射炉から車で約8分の所にあり、屋根裏の小屋組みは、実際に見ると圧巻されます★

蛭ヶ島公園

平治の乱で敗れた源頼朝は、1160年(永暦元年)に伊豆に配流され、のちに尊兵するまでの20年近くをこの地で過ごしたとされる場所。公園内には、江戸時代の農家「上野家住宅」茅葺建築が移築されていたり、茶屋もあるので、ゆっくり休憩できます。また、源頼朝と北条政子の夫婦像もあります。



まだまだ紹介できなかった所もありますが、皆さん機会があれば菰山に足を運んでみてください。

作業服・ヘルメットをリニューアル

この度、渡辺建設は作業服を約20年ぶりにリニューアル致しました。2021年1月から切替を開始しております。又ヘルメットも約9年ぶりにリニューアルし、社員一同、新しい作業服・ヘルメットで気持ちも新たに、これまで以上に仕事に励んでいきたいと思っています。リニューアル致しました作業服のデザインについて複数の候補の中から社員投票にて選ばれた一番人気のもので採用されております。又ヘルメットは白色から再び黄色に戻す形となりました。渡辺建設といった昔から伝統のある「黄色ヘルメット」の印象があるかと思えます。しっかりと伝統を引き継ぎ、今後も継承していきます。

今回採用されました作業服は時代に合ったスタイリッシュな形となっており、股下や袖下の伸縮性を高め、スマートでありながら動き易い、世代、性別に関わらず受け入れられるスタイリッシュで存在感のある作業服となっております。快適な仕事を実現するために機能性も向上しています。新作業服は、最新の素材・生地・縫製方法等を採用し、軽量で、通気性・伸縮性・吸汗性・制電性などに優れ、現場作業における動き易さ・着用時の快適さを重視した仕様としています。ヘルメットにおいては、白色から黄色に変更されたことにより視認性に優れております。又、現場の作業環境に応じて収納式のワイドシールドを備えたタイプを前回に引き続き採用し、着用時は飛来物に対して目をしっかりと保護することができます。以上、機能性が向上したことの紹介となります。この新作業服、ヘルメットの採用により、着用時の快適な作業環境の構築と、さらなる安全性の向上を目指します。リニューアルしました渡辺建設を今後とも宜しくお願い致します。

~New 作業服・ヘルメットの紹介~

~旧作業服~

2020年まで着用

- 両袖マルチポケット
- ペットボトルも入る脇マルチポケット
- 裾アジャスター
- マルチポケット
- 右サイドポケット
- コインポケット

立体カットで動き易さUP!!

傷をつけない安心設計
表面突起付属の無い安心仕様

→

~新作業服~

2021年1月より着用開始

- ワイドシールド採用
- 野帳も入る深めのポケット
- 左胸カードループ
- タブレットも入る内ポケット
- 両脇カナビナループ付
- ユーティリティポケット

~ワタケン ヘルメットの歴史~

2012年まで使用

2020年4月まで使用

2020年5月より使用開始

~主な機能性の向上一覧~

- | | |
|--|---|
| <p>☆ 作業服</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブルゾンは11カ所の多ポケット付 ・パンツは8カ所の多ポケット付 ・袖下の立体カット採用 ・表面突起付属の無い安心仕様 ・反射素材(肩袖ライン・胸) | <p>☆ ヘルメット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視認性の向上 ・収納式のワイドシールド付 ・軽くて、扱いやすい ・蒸れない、ズレない |
|--|---|